

東京工業大学物質・情報卓越教育院(TAC-MI)
「未来社会サービス創出ワークショップ」運営業務委託 一式
仕様書

1. 概要

本教育院(TAC-MI)の実施する「東京工業大学卓越大学院プログラム事業(「物質×情報=複素人材」育成を通じた持続可能社会の創造)」「(文部科学省補助事業)」について、本教育院の登録学生が、自身の研究を社会サービスに繋げて考え、社会に役立つ新しい産業を提案する俯瞰力を涵養することができるよう、未来社会サービス創出ワークショップを開催する。

2. 目的

下記3の参加者が数名のチームとなり、本学が指定する教育テーマ「物質と情報で切り拓く人権と福祉の未来(仮テーマ)」に沿った課題に対し、理解を深め、解決策を練る。

3. 参加者

TAC-MIの博士後期課程1年生 24名、TAC-MIの会員企業社員 6名程度 計30名程度
(別途、オブザーバーとして本学教職員、TAC-MI会員企業等関係者が参加する)

4. 実施期間

2021年12月9日(木)~12月10日(金)

5. 実施方法

オンライン(ZOOM)にて開催

6. 仕様

以下の条件を満たし、ワークショップによるアイデアの創出に寄与すること。

(1) 全般的要件

- ・受注者は、コンペティション方式により業務を受注した場合には、企画書により提案された計画・内容及び履行体制により当該業務を履行すること。

(2) 事前準備

- ・本学の示すテーマ、概要等をもとに、TAC-MIの理念等を踏まえた教育効果の高いワークショップ(初日のオープニングから、最終日のクローズ)の設計を行うこと。
- ・ワークショップの運営事務局として、参加者、オブザーバー等へ、ZOOMのURL送付等、必要な事前連絡を日英併記で行うこと。連絡先、連絡内容の概要は、本学より指示する。
- ・特別講演の講演者の選定はTAC-MIと相談の上、TAC-MIで最終決定する。

(3) ワークショップ

- ・ZOOMのホストとして、ルームの作成、参加者ヘルム URL の送付、参加者の入室許可のハンドリング、レコーディング、参加者のルーム割り等、ワークショップを開催するために必要な作業を行うこと。
- ・総括ファシリテーター1名、ファシリテーター2名、グラフィックレコーダー6名が対応する。
- ・ワークショップ全体の司会進行、発表は原則、英語で行うこと。
- ・グループワーク時は英語と日本語を適宜使用しながら進める。
- ・グループワーク時、各チームのディスカッションを促進するため、ファシリテーターおよびグラフィックレコーダーを行うこと。グラフィックレコーダーはグループファシリテーターを兼ねる。
- ・6グループに分かれ、グループワークを行う。各グループに1名のグラフィックレコーダーが付き、話し合いの内容やアイデア構想をその場で分かりやすくイラストにまとめ、可視化する。

(4)グループワークの概要とタイムライン

・ワークショップの概要とタイムラインは、原則として以下のとおりとする。

日にち	時間	内容
12/9	9:00-12:30	オープニング・趣旨説明
		・テーマの提示
		・チーム内自己紹介
		【特別講演】 テーマに沿った講演を行う
		・2日間のミッション提示
	・グループワーク	
	12:30-13:30	昼休憩
13:30-18:00	・グループワーク	
	・各チームの中間発表の後、ファシリテーター、オブザーバーからフィードバック	
	・翌日に向けてリサーチが必用な内容をピックアップ	
12/10	9:00-12:30	・グループワーク(発表準備)
	12:30-13:30	昼休憩
	13:30-18:00	各チームの成果を発表
		・個人ワーク
		※ 他の参加者・企業参加者との議論を推奨する (並行して、本学教員・ファシリテーターによる審議を行い、賞を決定)
表彰式(授与式、審査員長からの講評)		
・まとめ、クローズ(企業関係者からの講評、教育院長等からの講評)		
・グループごとに発表後の振り返り		

(5)実施後

- ・実施後に参加者へのアンケート(日英併記)を実施すること。アンケートの項目は、本学が指示する。
- ・企画立案内容、実施内容、実施後の参加者アンケート結果、改善点を報告書(A4サイズで10ページ程度)としてとりまとめ、グループワーク終了後、1か月以内に、電子データにて本学に提出すること。

7. その他

- (1)本業務の実施においては、本学の課す守秘義務を厳守すること。
- (2)本仕様書に定めのない事項は、本学担当者の指示によること。
- (3)上記(2)の指示によりがたい場合は、発注者・受注者で双方協議のうえこれを決定する。

以上